

鹿児島県の天然記念物に指定されているトカラウマ。トカラという名前は屋久島と奄美大島の間にあるトカラ列島で飼育されていたから。(喜界島から運ばれたといわれています。)体高は100~120cmと小型。性格は温厚。寿命は20~25年で、暑さに強く、力持ちなのが特徴だ。



島の何でも屋さん

力持ちのトカラウマ。人はいろいろな方法で力を借りていたよ。
1、荷物運び/2、乗馬/3、郵便配達/
4、畑を耕す/5、サトウキビを搾る
などなど。島の人には欠かせない存在だったんだ。



力持ちのヒミツ

馬は速く走ることができ、力も強いよ。脚に注目してみよう。大きい蹄(ひづめ)ともりもりの筋肉が力の源だよ。ちなみに、中指一本で立っているんだ。



Check!

爪切りは特大サイズ！普通のハサミが小さく見えるね！

新商品いっぱい!! 売店紹介

コアラの赤ちゃん2頭誕生&オーストラリアから2頭来園で、お祝い・歓迎で盛り上がっている平川動物公園。売店でもコアラグッズの取り扱いを増やしました。ぬいぐるみ・ポーチやストラップ等の雑貨・お土産菓子がたくさん並んでいます。コアラソフトは遊園地売店・ふれあい売店で販売中です。

また今年は明治維新150周年、大河ドラマの放送に合わせ、平川動物公園でも西郷どん関連商品を多数揃え、コーナーも作りしました。西郷どんソフトも発売、ソウ舎前売店の大人気商品です。

明治維新150周年 維新の故郷 鹿児島市
西郷どんソフト 300円

2018年 コアラが新たに仲間入り!
コアラソフト 280円

コアラグッズ いっぱい増えました!

西郷さんグッズ大好評!

西郷どんとごーん 790円

西郷どんの太が眉 1,080円

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1
TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328
■開園時間:午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)
■休園日:12月29日~1月1日
URL <http://hirakawazoo.jp/>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hirakawazoo>
Twitter <https://twitter.com/hirakawazoo>
動物取扱業の種別:展示 登録番号:生衛動取 第357号 登録の年月日:H28.5.11
有効期間末日:H33.5.11 動物取扱責任者:桜井普子

携帯サイトへアクセス!



編集・発行

〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号
TEL.099-221-5055 FAX.099-223-5690
URL <http://k-kouenkousya.jp>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/k.kouenkousya>

ZOOっと平川



特集1

オーストラリアからコアラが来たよ!

特集2

飼育員の一日~クマ飼育員の巻~

特集3

ブリーディングローンって何?

特集1

オーストラリアから
コアラが
来たよ!

2018年3月29日に^{けつとう}血統更新のためオーストラリアのドリームワールドから新たに2頭のコアラがやってきました。数年内にもう1頭やってくる予定で、益々の盛り上がりを見せてくれるでしょう。

今回は平川動物公園と日本国内のコアラの^な未来を担うであろうその2頭をご紹介します。



Vanbrugh

バンブラ

(オス・5歳)2013年3月22日生まれ

がっしりとした体つきでお腹の毛が茶色いのが特徴です。オーストラリアでは人に慣れた個体といわれていました。日本の^{かんきょう}環境にも徐々に慣れてきて、鳴き声を上げることも。今後の繁殖に期待です。

Jayne

ジェイン

(メス・3歳)2014年11月19日生まれ

バンブラと比べると小柄。^{はいかいしん}警戒心は強いですが、人には慣れてしています。また、日本の環境にも徐々に慣れてきました。今後は元気な姿を見せてくれるでしょう。こちらも繁殖に期待です。



ドリームワールドってどんなところ?

オーストラリアのクイーンズランド州ゴールドコーストにあり、約80ヘクタール(東京ドーム約17個分)の広大な敷地に様々なアトラクションやアミューズメントがあるオーストラリア最大級のテーマパークです。その中のTIGER ISLAND(タイガーアイランド)とDREAMWORLD CORROBOREE(ドリームワールドカラバリ)の2つのエリアに動物が飼育展示されており、バンブラとジェインはドリームワールドカラバリで育ちました。ここではオーストラリアの先住民^{せいざいじん}アボリジニーの文化を知ってもらうと共に、オーストラリア固有の動物を展示し、その生態を伝える取り組みや保護活動なども行っています。



▲アボリジニーについての解説



▲交通事故で片足を失ったコアラへの補助給餌

タイガーアイランドでは飼育員がトラの行動を引き出し、トラの能力や野生下での^{げんじょう}現状をお客様に伝えるイベントを行っており、多くのお客様が楽しんでいました。2016年2月に平川動物公園から^{ひんしかつ}搬出した2頭のメスのホワイトタイガー(カリとキコ)もこのタイガーアイランドで元気に過ごしていました。



平川動物公園で生活していた頃の2頭



▲カリ



▲キコ

本当にいます！野生のコアラ！

日本人にとって野生下にコアラがいるという状況はイメージしにくいと思います。オーストラリアでも野生のコアラを見ることはまれですが、民家の庭や街路樹などにコアラがいることもあります。

POINT!

民家に近いことでペットによる被害や交通事故、開発による^{しんりく}森林伐採等により、コアラの生息^{せいじつ}数は年々減っています。



▲こんなに高いところに!



▲野生のコアラがスヤスヤお昼寝中でした

ZZZ

コアラの輸送ってどうやるの？

オーストラリアから平川動物公園までの長い道のりをコアラは輸送箱の中で過ごします。輸送箱はドリームワールドの方が作って下さいました。



輸送箱に入れ、オーストラリアをいざ出発



成田空港では検疫をするよ！



この時鹿児島島のユーカーと交換します。食べてくれるかな？

定期的にコアラの健康状態を観察し、細心の注意を払って遠くの日までやってきました。



羽田空港から鹿児島空港、そして平川動物公園へ



千葉県の施設で一晩を過ごし、翌朝羽田空港へ

到着後の2頭は新しい環境ということもあり、組木の上からほとんど動かさず緊張気味でした。現在では、2頭とも落ち着いて過ごしています。



▲現在のバンブラ



▲現在のジェインの様子

現在日本国内ではコアラの飼育頭数が減少しています。理由は様々ですが、その内の1つが繁殖の難しさです。特に血統の多様性の維持が困難になってきていますので、海外から新たな血統を取り入れることができたのは素晴らしいことです。世界的にも個体数が減少しつつあるコアラを未来に残していけるように、国内外のコアラ飼育園と協力していきたいと思ひます。

コアラの子どもの名前が決定！



2018年2月18日、昨年に生まれたコアラ2頭の命名式が開催されました。

それぞれ2,900点を超える応募の中から選ばれた名前は、2017年5月4日生まれのメスが「イト」、同5月14日生まれのオスが「イシン」です。

どちらの名前も明治維新150周年にちなんでいて、とてもタイムリー。すぐにみんなに覚えてもらえたようです。



イト (父:ブンダ 母:ココロ)

2017年5月4日生まれ
NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映を記念して、西郷隆盛の妻、「糸」さんにちなんで名付けられました。お母さんに似てしっかりとした体格の姉さんタイプ。やんちゃなイシンを上手くあしらっています。



イシン (父:ブンダ 母:ユメ)

2017年5月14日生まれ
明治維新150周年にちなんで名づけられました。お母さんゆずりの明るい毛色が特徴です。同い年のイトのことが気になって仕方ない様子。ことあるごとにちょっかいを出しては叱られています。

飼育員からのメッセージ

2頭の子どもたちは、4月に親離れをしました。まだまだお母さんに甘えたい年頃ですが、お母さんにも次の出産の準備がありますし、子どもたちも自分だけで生きていくことができるように、そして、自分たちの子孫を残すことができるように、親離れは大きく成長するための大切なステップなのです。子どもたちが強くたくましく育っていく様子を、ぜひ温かく見守っていただけたらと思います。

担当者: 永榮、望月



イシンです！

イトです！

飼育員の一日



クマ飼育員の巻

平川動物公園では、世界のクマゾーンで4種6頭のクマを飼育しており、それぞれの特徴を比較しながら観察することができます。今回はクマ担当の飼育員の一日を紹介します。

飼育担当者：秋元、古庄
私たちが2人で担当しています。その他にはカリフォルニアアシカ、ホワイトタイガー、シンリンオオカミなどを担当しています。

平川でくらす6頭のクマたちを紹介します！



マレーグマのウラン(メス・左)とハニイ(メス・右)



エゾヒグマのナズナ(メス)



ホッキョクグマのカナ(メス)



ニホンツキノワグマのアイ(メス)とイツキ(オス)



ある日のスケジュール

8:15 朝の巡回と観察

8:30 各動物の展示場点検、放飼

9:00 アシカプールで給餌

9:15 ホワイトタイガー、シンリンオオカミなど野生のイヌ・ネコゾーンの各獣舎の掃除

10:45 野生のイヌ・ネコゾーンの各動物のエサの準備

12:00 昼休み

13:00 ミーティング

13:30 ホッキョクグマ、エゾヒグマなど世界のクマゾーンの各獣舎の掃除、エサの準備、給餌

15:20 ホッキョクグマ、カリフォルニアアシカ各プールの濾過器(プールの水をきれいに保つための装置)の掃除とメンテナンス

15:50 アシカプールで給餌

16:00 世界のクマゾーン、野生のイヌ・ネコゾーンの各動物を寝室へ収容し、給餌、展示場の掃除、各獣舎の施設

17:00 日誌の記入、業務終了

8:15~

朝の巡回と観察

各獣舎を巡回し、動物の様子を観察します。動物の動き、エサの食べ残しの有無、糞の状態を確認し、動物に異常がないかを確認します。

クマなく観察！異常なし!!



8:30~

展示場点検、放飼

展示場に異常箇所などないか確認し、動物脱出やケガなどの事故防止に努めます。展示場に問題がなければ動物を放飼します。すんなり展示場に出てくれないときもありますが、動物の気分を損ねないように息を殺してじっと待ちます。

それぞれのペースで展示場へ出て来ます。



9:00~

アシカプールで給餌

カリフォルニアアシカとコシベニペリカンにアジを給餌します。屋外なのでアオサギやカラス、トビなどの野鳥がおぼれを狙ってきます。

しっかり食べて大きくなってね。



9:15~

ホワイトタイガー、シンリンオオカミなど野生のイヌ・ネコゾーンの各獣舎の掃除

熊手とちり取りで糞や食べ残しを取った後、ホースで洗い流します。

集めた糞は堆肥になります。



10:45~

野生のイヌ・ネコゾーンの各動物のエサの準備

馬肉や鶏を動物の体格に合わせて切り分けます。7種16頭の肉食獣を飼育しているため大量の肉が必要です。

肉切りは結構な力仕事です。



12:00~

昼休み

13:00~

ミーティング

13:30~

ホッキョクグマ、エゾヒグマなど世界のクマゾーンの各獣舎の掃除、エサの準備、給餌

掃除をした後、準備したエサを各獣舎に置いていきます。クマは雑食なので、エサは肉、魚、野菜、果物とバラエティ豊かです。

クマのエサは色とりどり!



14:00~

「マレーグマのハニータイム」の実施

土、日、祝日にはマレーグマが長い舌を使ってはちみつをなめる様子をご覧ください。



15:20~

カリフォルニアアシカ、ホッキョクグマ各プールの濾過器の掃除とメンテナンス

消毒液の補充なども行います。機械設備のメンテナンスも大事な仕事なのです。

こまめに掃除をして故障を防ぎます。



15:50~

アシカプールで給餌

16:00~

世界のクマゾーン、野生のイヌ・ネコゾーンの各動物を寝室へ収容し、給餌、展示場の掃除、各獣舎の施錠

動物を一頭一頭確認しながら収容していきます。収容後、施錠を確実にし脱出防止に努めます。

おかえり！
たくさん食べてね♪



17:00

日誌の記入

動物の体調や行動、獣舎の室温などを記入します。この記録の積み重ねが今後の飼育に生かされていきます。

業務終了

お風呂で体を洗いながら、動物のことやプライベートのことなど様々な話題で盛り上がります。今日も一日お疲れさまでした！



飼育員からひとこと

平川動物公園では4種のクマを飼育していますが、中でも注目してほしいクマは当園唯一のホッキョクグマのカナ(メス 推定27才)です。ホッキョクグマの寿命は飼育下で25~30年ですので、カナは高齢ということになります。もし寿命が来てカナが亡くなってしまったら、当園からホッキョクグマの姿が消えてしまいます。新たな個体を海外、あるいは国内の他の動物園から導入しようとしても、希少であることや費用が高額であることなどの理由により、導入は非常に困難になっています。カナは動きが少なく横になっていることが多いですが、毎日エサをしっかり食べています。そして、私たちもカナに合わせた生活リズムを工夫し、健康管理を行っていますので、のんびりと過ごすカナに会いに来てください！



担当者：秋元、古庄

あさみ

飼育員の一日



エゾヒグマが阿蘇から来園！

エゾヒグマ
 学名 *Ursus arctos yezoensis*
 英名 Ezo Brown Bear
 分類 食肉目クマ科
 生息地 北海道
 主食 植物の若葉、木の実、果実など

2018年2月3日、阿蘇カドリー・ドミニオンからエゾヒグマが来園しました。名前は「ナズナ」で4才の若くて元気いっぱいのメスです。平川動物公園にとっては待望のエゾヒグマで、展示をするのは実に22年ぶりとなります。阿蘇からやって来たナズナの搬入の様子をお伝えします。



クレーンで輸送箱をトラックから降ろすときはドキドキしました。



輸送箱をクマ舎の搬入口に密着させチェーンでしっかり固定します。

ナズナは、重さ約800kgもある頑丈な金属製の輸送箱に入れられ、トラックで運ばれて来ました。輸送箱をクレーンで釣り上げてトラックから降ろし、体重を測るため輸送箱ごと重量を測定したところ、ナズナの体重は133.6kgでした。体重測定をした後、クマ舎の搬入口に輸送箱を固定します。そして、いよいよ輸送箱の扉を開け、ナズナをクマ舎に入れます。緊張の一瞬、ナズナはクマ舎に入ってくれるのか！？固唾を飲んで見守ります。扉が開いたその瞬間！！スタスタスタ…一目散にクマ舎に入っていました。拍子抜けしてしまいましたが、無事に搬入が完了して一安心です。



展示場で扉を叩いたりして元気いっぱいに過ごしています！

クマ舎での検疫を経て2月20日から展示を開始しました。ナズナは、展示場の地面を掘って大穴を開けたり、展示場の扉をひっきりなしに叩いたりして元気が良過ぎる！？様子で過ごしています。やんちゃで迫力満点なナズナにぜひ会いに来てください！



会いに来てね！

What is breeding loan /

ブリーディングローンって何??

動物園の動物たちはどこからやってくるか知っていますか?ほとんどの動物たちが、実は動物園生まれなのです。動物を飼育・展示し続けるには継続的に繁殖を行う必要があります。雌雄が揃っていない場合や雌雄間の相性に問題があり繁殖に至らない場合、同じ血統での繁殖が続いた場合などには、新たな個体を導入(動物園に迎え入れること)しなければなりません。方法としては寄贈や購入、動物交換、ブリーディングローンなどがあります。

ブリーディングローン(以下、BL とします)とは動物園や水族館同士で契約を交わし、動物の貸し借りをを行うことです。動物の所有権は残したまま、子どもが生まれた場合は双方で協議をし、子どもの所有を決定します。希少動物の繁殖に積極的に取り組むことができ、近交劣化を防止する他、貸借であるため購入費が生じず経費削減になる等、様々なメリットがあります。

平川動物公園のBL例

Case 1 ~アビシニアコロブス~

アビシニアコロブスのプルート(オス・2017年に死亡)にはしばらく繁殖相手がいませんでしたが、BLによって来園したラテとの繁殖が成功し、2015年にラン(メス)が誕生しました。



▲BLで借り受けたラテ(所有権は日本モンキーセンター)



▲BLにより誕生したラン

Case 2 ~マンドリル~

2018年4月18日にはマンドリルのエビゾウ(オス)をBLの制度により、埼玉県東武動物公園に搬出しました。動物の移動を行う際には「検疫」を行います。検疫とはある一定期間、病気があるかどうか検査をすることで、必要に応じて治療をするものです。他の個体と接することがないように、園内にある動物病院に移動して検疫を行いました。



▲搬出前のエビゾウ

More

検疫期間を終えたエビゾウは、麻酔をかけた上で輸送箱に移動し、トラックで無事出発しました。マンドリルは犬歯が鋭く、力も強いので、動物と人間が共に怪我をしないように麻酔をかける必要があります。

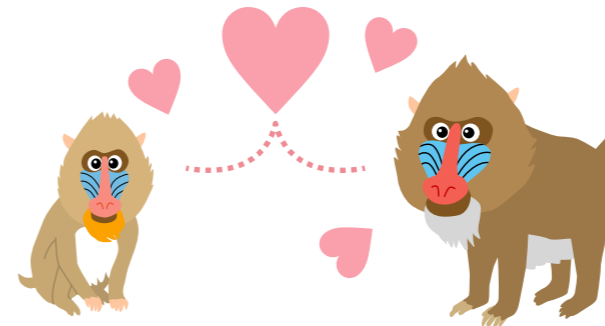


▲獣医師が麻酔銃で狙いを定めます



▲輸送箱に入って覚醒したエビゾウ

東武動物公園でペアになるメスとの間に新たな家族ができることを期待しています。



▲出発。元気でがんばってね!

Case 3 ~コツメカワウソとビントロング~

コツメカワウソの場合、野生では十数頭もの群れを作ることがありますが、そのうち繁殖を行うのは一番優位なオスとメスのペアのみです。大きくなった子どもは繁殖相手を求めて自然と群れから離れていきますが、動物園では施設の規模によって1つの群れしか飼育できない場合があります。そこで、「ペアで飼育したいけれど相手がいない」他の施設へ搬出し、繁殖を試みます。当園で生まれたコツメカワウソのキボウ(メス)は2018年2月に鳥羽水族館へBLで搬出しました。また、2016年12月に生まれたビントロングのフク(オス)は母親の元で約1年育った後、千葉県の市原ぞうの国へ同じくBLで搬出しています。搬出先で他のビントロングたちとうまく同居、繁殖してくれることを願っています。

BLでは他園から受け入れた個体により、血統の更新を行うことができるなどの利点もあり、動物園や水族館は動物をただ繁殖させるだけでなく、次の世代の事を考えて連携を深めているのです。



▲コツメカワウソのキボウ



▲ビントロングのフク